



全力一心

No.33 (本年度最終号)

令和4年 3月23日

「夢を抱き、絆を大切にできる子どもを育もう～「よろこばせごっこ」で

都農町立都農小学校 TEL 0983-25-0049 FAX 0983-25-0273 文責：校長 三橋正洋

幸せな人生を送るために～夢絆

いよいよ明日が卒業式です。本当に時が過ぎるのは早いものです。この式を全校児童で見届けることはできませんが、参加する5年生が卒業生の晴れの姿を温かく見守り、そして伝統をしっかり引き継いでくれるはずです。卒業生のこれからの人生が幸せでありますように…。

さてこの1年、おすすっ子やその周りにいる大人の方には、下のことをお願いしました。

◎ 今後の社会をたくましく生きぬくことができるために～人間らしさを伸ばす

① 夢を抱き、将来へ向かって頑張ろうとする子どもに

② 絆を大切にできる子どもに



そのための具体的なアプローチとして

☆ おすすっ子には ⇒⇒ 「よろこばせごっこ」と「5つのできる子プラス1」

☆ それをとりまく大人には⇒⇒ 「温かい関わりと見届け」

これからの社会は、予測困難な時代と言われます。この時代にしっかり対応していくためには、これまでの知識や経験だけで導かける「正解」が解ける力だけでは不十分で、答えのない課題に対して、いろんな人と力を合わせながらその目的に応じた「納得解」を見出す力があるかどうかが大事となってきます（この力は人工知能は苦手な、人間しかできないものです）。こうした「納得解」を見出すためには、当然のことながら、これまでの学び方だけでは身につきません。これまで以上に、学校・家庭・地域が手を取り合い、新たな方法も取り入れながら子どもたちを育てていく必要があります。そこで私の中で浮かびあがったのが、上の図でした。

まずは「がんばる目標」にあたる「夢」を抱くことです。将来こういう仕事につきたい、こんな人生を送ってみたい…と子どもたちがワクワクしながらイメージすることです。この「夢」は変わっても大丈夫！大事なことは常に持ち続けていくことです。そうすることで、少々困難に直面しても「夢を叶えるためにがんばるぞ！」という気持ちで乗り越えることができます。

次に「がんばれる力」にあたる「絆」をつくり、広げることです。どんなに強い気持ちをもっていても、ともすると一人では解決できない問題に直面することが出てくるかもしれません。そこまでいなくても、心が苦しくなることもあるでしょう。そういう時に助けてくれる、力を貸してくれるのが、自分の応援団となる「絆」です。人に相談したり、一緒になって取り組んだりすることで、一人では乗り越えられない問題を解決することができるようになります。

では何をすればよいか…この具体的なアプローチとして「よろこばせごっこ」「5つのできる子プラス1」「温かい関わりと見届け」をお願いしてきました。今のコロナ禍は、まさしく予測困難な課題でした。しかし人間はいろんな熟議や協働で、明るい未来へ向けて、今、たくましくその解決へ進もうとしています。「夢・絆」～みんなが幸せな人生が送れるために、この1年の取組に感謝するとともに、これからもぜひお力添えのほどよろしくお願いいたします。

これからも学校・家庭・地域が力あわせて…

今年もコロナ対応に追われる毎日が続きました。以前のように、地域や家庭の方と子どもたちが共に活動することは減りました。しかしその中で、その活動をできるだけ止めない工夫も進めてきました。ここで、この1年の地域・家庭協働の活動を紹介します。

1 地域とともに

今年度、町教委の「地域学校協働事業」が本格実施となりました。事業担当の方が週1回来校され、学校と地域とタイアップして行う活動を推進する体制ができ、とても助かりました。その中、今年新たに生まれた活動がありました。そのうち、2つの活動を紹介します。

① イツノマさんとのキャリア教育

⇒「都農町の未来をみんなでつくりあげよう」のコンセプトで、町内小中学校へ「(株)イツノマ」の方々子どもたちとともに活動をしています。本校では4年生がこの学習に関わりました。子どもたちはもちろんのこと、私自身もいつもワクワクしてこの授業を楽しみにしていました。子ども達が描いた夢が、将来の都農町のまちづくりに生かされるかもしれない…こんな町に住める、これだけでもワクワクします。これから楽しみです。



② 「道の駅つの」での米販売

⇒今年度、予定していた5年生の米収穫が、米の生育の関係等で米づくりでお世話になった方だけで行っていただき、子ども達の収穫体験はありませんでした。何とか子どもたちに別の体験ができないか…その思いで生まれた活動がこの米販売です。道の駅長さんもこの活動に快諾いただき、会場や値段シールの提供をくださいました。学校の近くにある町施設との初コラボは、笑顔や達成感あふれる大成功のイベントとなりました。



2 家庭とともに

P T A活動もコロナの影響を受け、予定された行事が一部中止となりました。しかしその中、不織布マスクの各家庭配付や朝の登校見守り等を通して、子ども達に安全・安心、元気や笑顔を届けていただいたこと、心から感謝です。また町P T Aで協議された家庭での携帯・スマホに関する文書配付は画期的な取組でした。本町の家庭教育応援団「さん・さん」も含めて、町内の家庭が横にしっかり連携し、子ども達を見守っていく機運がどんどん高まってきており、心強い限りです。ここで、朝の見守り活動での保護者のコメントを紹介します。

「都農小学校、最後の立ち番でした。みんなの顔が見れ、朝からパワーをもらいました。いつも子どもの見守り、ありがとうございます。立ち番、楽しかったです。」

「今年最後の立ち番でした。菜の花を持っていた男の子が「これあげます」と私に花をちぎって渡してくれました。握りしめて歩いていたのでしょう。少し枯れかかっていましたが、そんな気持ちににっこりさせられました。やさしい都農小!! これからも元気に登校してほしいな、と思わせてもらえる朝のスタートでした。」

このコメントを見て、心がジーンとききました。日頃からのP T A活動に頭が下がります。

最後になりましたが、この1年間、家庭・地域の方々、都農小学校への御支援・御協力いただきまして、本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。《感謝》

卒業式・修了式の様子そして「全カー心」カラー版は、都農小ホームページにアップします。ご覧ください。